

2020年9月行事《川中邸屋敷林保全活動》実施報告書

日 時 2020(令和2)年9月5日(土) 9:30~12:10

会 場 川中邸(東大阪市今米1-4-38)

参 加 8名(一般1名、今米緑地保全会:川中・飛田・岡田・岸本、枚岡NC:端・米田・石田)

講 師 田端敬三(近畿大学農学部非常勤講師)

内 容 参加者全員がコロナ対策として非接触型検温測定、健康チェック票記入、マスク着用等
対応する中、開会に続き今米緑地

保全会川中知子(もとこ)代表より今期の屋敷林植生調査等の活動報告を受ける。続いて、当該調査を主導された田端講師より日本固有の森林特性や当屋敷林の保全意義及び調査概要(1.3m以上高、直径1cm

以上、約100樹種、計3150本余)の解説を受けた後、林内をめぐり樹木特性等について研修した。

活動報告



森林・樹木解説



ナギ(縦方向のみにある葉脈)



イヌマキ



ヒイラギ(丸・鋸歯葉混在木)



ヒイラギの観察



チャノキ



アオキ(斑入り)



フジ(上から見て時計回りに巻付く)



アカマツ?(クロマツとの雑種の可能性あり)



アカマツ様の赤い幹、クロマツ様の堅く鋭利な葉の解説



クチナシの解説



クチナシ(三鈷杵様の果実)



ネムノキ



マダケ(2本の隆起線の節)



ツタ



テイカカズラ



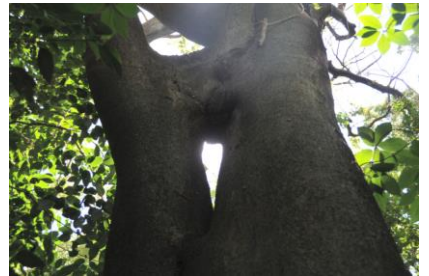
シロダモ(種子から蠟燭料が採油)



イヌビワ(イヌビワコバチと共生)



エノキ上部の連理



ムクノキの板根



ネズミモチ(葉脈は日に透けない)



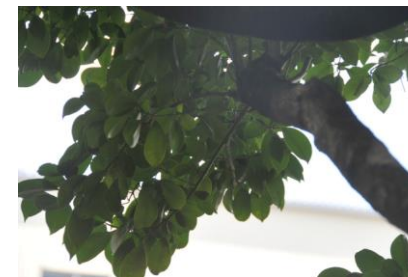
ケヤキ(葉縁に粗い鋸歯)



ケヤキ・エノキ葉形の比較



クロガネモチ(葉柄や若枝は黒紫色)



ナンキンハゼ(葉の基部に腺体)



ナワシログミ (荒地にも育つ肥料木)



イスノキの虫えい



ムベ



ソメイヨシノ



トウネズミモチ (葉脈は日に透ける)



集合写真

